

## 企業連携出前授業 第15回

- ◆ 日 時 令和2年9月25日（金）9：50～12：25 3コマ
- ◆ 企 業 (株)大上建築
- ◆ 講 師 大上 正雄 様・藤原 裕治 様
- ◆ 学 校 境港市立第三中学校
- ◆ 対 象 2年生 3クラス 78名
- ◆ 内 容 木造免振住宅って何？



(株)大上建築  
大上社長

藤原さん

住む地域の特性によって、例えば、雪が多い・暑い・草原に住むというように色々ですが、「家」をみればどういう特性の地域・生活の場であるかが一目でわかることを学びました。また、木造建築の特徴は、材料が自然植生の木である為に古くなれば朽ちやすく自然に戻りますが、管理を良くすれば永く使用できます。また、地球表面の皮ともいえるプレートが、日本周辺には複雑に重なりあうことによる地震発生の仕組みを知りました。昔の家は地表に石を置き、その上に木造の家を建てていた（置いていた）ので、地表の小さな揺れは直接木造の家に伝わらない構造（免震構造）となっていました。家を地震から守るには、「耐震」「制震」「免震」構造の家造りがあります。中でも「免震」構造の家は比較的費用が少なく、今注目されつつあります。(株)大上建築では、自由に設計されたどんな木造住宅でも免震構造とすることが可能となる技術を発明され、特許を取得されています。「発明楽」(注1)では、自由設計の木造免振住宅は、割り算（家は地表に固定するものという常識を覆す逆転の発想）の手法で見出されたものと説明をさせていただきました。



### ★生徒アンケートより★

- ・今日の授業で、仕事をする上で大切なことが沢山分かりました。
- ・あまり興味を持っていなかった建築の話もしっかり聞いて良かったです。
- ・建築は、それぞれの地域にあった家づくりが大切だと分かった。
- ・とても分かりやすく、将来にとっても役立つと思いました。
- ・+、-、×、÷で発明ができることに少し驚きました。
- ・新しいものだけでなく、今あるものを組み合わせたりすることも1つの発明なんだと思いました。

(注1：「発明楽」とは発明を生み出す4つの発想スキル +、-、×、÷)